



【ウラジオストクは坂の街。そのどこからも港が見え、船が見え、汽笛が聞こえる】

まさにヨーロッパの街並み。
この街を散策しながら、ひたすらカメラのシャッターを切る。
切り取った風景はどれもが絵葉書の世界なのだ。

疲れたら、オープンテラスのカフェに席をとり、カプチーノを飲みながら、行き交う人々を観察する。
海風はやさしく頬を撫で、そのこちよさは、暫し、時空を超えた世界へと誘う。